

体験！発見！ジオパーク(歴史文化編)



1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

室戸ユネスコ世界ジオパークを構成している自然や文化、産業について学ぶ体験活動を通して、大地の誕生や生命の営みについての興味・関心を高める。

○ 実施期間

令和2年2月15日(土)～令和2年2月16日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

小学4年生から6年生までの児童 23名/30名

○ 活動プログラム

2/15(土)		2/16(日)	
9:30	はりまや橋観光バスターミナル発 道の駅日和佐発	6:00	起床・洗面・清掃
11:30	吉良川町並み駐車場着	7:30	朝のつどい
12:00	吉良川公民館着 昼食【吉良川公民館】	7:45	朝食
12:45	開講式	8:30	自然の家 発
13:00	吉良川町並み見学・コース下見	9:00	吉良川町並み飛脚レース ※1チーム5名×6チーム参加
14:30	吉良川町並み駐車場発	12:00	昼食【吉良川小学校体育館】
15:00	自然の家着 入所オリエンテーション	13:00	閉講
15:30	備長炭を使った工作 ・備長炭について ・炭の箸置きづくり	13:30	吉良川町 発 高知市内送り 美波町由岐支所送り
17:00	夕べのつどい 夕食【食堂】 荷物の移動 自由時間		
19:00	班会 ・炭焼き体験について ・飛脚レースについて		
20:00	入浴【大浴場】		
21:30	就寝準備		
22:00	就寝		

2. 活動の様子

<1日目>

吉良川公民館で昼食と開講式の後、高知県で初めて国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている吉良川町の町並みを見学した。子供たちは、明治期に建てられた漆喰壁の商家や水切り瓦の蔵が立ち並ぶ町並みを見学し室戸市の歴史や文化に触れることができた。吉良川まちなみ館では、色とりどりの雛人形を見学した。石で造られた雛人形、大正時代のお雛様、頭に装飾をほどこした煌びやかなお雛様など、子供たちを夢中にさせたり感心させたりする歴史ある雛飾りをたくさん見ることができた。また、吉良川町には、町並みに南海トラフ地震の痕跡を残す地形などがたくさん



あり、ジオパークセンターの中村有吾専門員の話に興味深く聞いていた。子供たちは、古き良き街並みが残る吉良川町を満喫していた。その後、自然の家に着き、入所のオリエンテーションを行った。工作棟に移動し、室戸市の生活を支えてきた土佐備長炭の学習を行った。室戸市の備長炭の歴史や作り方など、子供たちに炭の魅力を紹介した。また、土佐備長炭を使った箸置きや竹を削って箸を作った。箸作りでは、小刀を初めて使うという子供もいたが友達と協力しながら取り組んでいる姿が見られていた。オリジナルの箸を製作して満足している子供たちの姿が見られた。備長炭の箸置きづくりでは、軍手を真っ黒にしなが、一生懸命にサンドペーパーで備長炭を磨いている姿が見られた。ものづくりを通して、室戸の文化も感じる事ができた。夜の班会では、1日の振り返りと2日目の計画を行った。振り返りでは、室戸市の歴史や文化に触れて、先人の工夫や努力について考える事ができた。2日目は、吉良川町並み飛脚レースに参加するので、班ごとに目標や計画を立てた。



<2日目>

2日目、朝6時に起床し身支度や部屋の清掃を行った。参加者の半数以上が、自然の家の様々な事業に参加したことがある子供たちだったので、何をすればよいのか、どうすればよいのか分かっていたので自分から進んで寝屋の掃除などもしていた。友達と協力しながらトイレ掃除や階段の拭き掃除を頑張っていた。今回で6年生の事業への参加は最後になるが、6年生自ら先頭に立って掃除をしたり下級生に指示をしたりしていた。1日目に、6年生との思い出づくりも大切にしてほしいと話していたが、6年生の子供たちの最上級生としての役割や責任感を4・5年生の子供たちは教えてもらったようである。宿泊部屋の掃除が終わると食堂に移動して朝食をとった。朝食後、バスで吉良川町に移動し、第11回吉良川町並み飛脚レースに参加した。自然の家からは5チーム出場した。朝からの雨で吉良川町を歩いて関所を巡る活動はできなかった。しかし、吉良川小学校の教室や廊下に各関所をつくり飛脚レースを行った。レース開始前にそれぞれの班で作戦を練り、各関所に向かう順番や担当を決めた。レースが始まると挟み箱をバトンの代わりに子供たちは関所を目指した。各関所には、高知県のお座敷遊びのはし拳を取り入れたゲームや室戸深層水についてのクイズなどが行われた。子供たちは、関所ごとに出されるお題に挑戦した。雨天のために、飛脚レースのルールが少し変わったが、友達と協力し合って活動する姿が見られた。また、仲間との絆も深まった。吉良川の町並みを歩くことはできなかったが、体育館で行われた活動を行うことで地域の方々と触



れ合うことができた。室戸市吉良川町の歴史や人々の暖かさを知る機会となった。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・とても楽しかったです。職員もリーダーも対応が良かったです。
- ・吉良川の町並みを見学して、昔の家の工夫を知って勉強になりました。
- ・雨だったけど、飛脚レース楽しかったです。来年も参加したいです。
- ・吉良川まちなみ館で昔のいろいろな雛人形を見ることができて良かったです。石でできた雛人形にはびっくりしました。
- ・吉良川の町は、南海トラフ地震の津波で神社の場所が変わった話を聞いてびっくりしました。
- ・町並みを見学している時に、津波の後も見ることができて良かったです。
- ・雨だったので仕方なかったけど、吉良川の町並みで飛脚レースをしたかったです。

○ 事業の成果

- ・今回の事業は、室戸市吉良川町の歴史や文化をテーマに体験学習を行った。参加した子供たちは、ジオパークは知っているが、室戸市内に遺跡や南海トラフの痕跡、炭の文化が残っていることは知らなかった。この事業を通して、子供たちに室戸市の新たな歴史や文化を教えることができた。
- ・吉良川町の遺跡や痕跡を歩いて見学した。子供たちへの説明は、室戸世界ジオパークセンターの中村有吾専門員にいただいた。実際に、遺跡や痕跡を見たり、触ったりする活動を通して昔の人々の生活を感じることができた。
- ・飛脚レースに向けて班活動を多く取り入れた。その中で子供たち同士での主体的・対話的な学びができた。自分の思いや考えを伝えるだけでなく、相手の考えを理解しようとする姿も見られた。

○ 事業の課題

- ・今回は、雨天のため吉良川町飛脚レースが体育館で行われた。雨天時でも歴史や文化を体験できるプログラムを考えていかなければならない。
- ・炭の文化を知ってもらうために竹箸や備長炭の箸置きを作った。室戸市の文化である炭を使った工作の種類などを増やしておく必要がある。